

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 580307 史跡整備管理事業		主管課名 教育行政課														
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名 野々山 照夫												
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち														
		基本事業	文化財の保存と活用														
	(1)事業の概要																
	市指定史跡等を整備保存し一般公開するため、年3回の草刈り、雑木伐採等を実施し、史跡の環境を維持保全する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)													
				<table border="1"> <tr><th colspan="2">名 称</th><th>単位</th></tr> <tr><td colspan="2">史跡管理が必要な区域面積</td><td>m²</td></tr> <tr><td colspan="2">史跡管理の実施回数</td><td>回</td></tr> <tr><td colspan="2">その指標</td><td></td></tr> </table>		名 称		単位	史跡管理が必要な区域面積		m ²	史跡管理の実施回数		回	その指標		
	名 称		単位														
	史跡管理が必要な区域面積		m ²														
	史跡管理の実施回数		回														
その指標																	
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		史跡用地の賃貸借及び使用貸借契約事務(福谷城跡:3年更新、黒笹27号窯跡:5年更新) 史跡管理の内容(2回/年、草刈り及び雑木処理)															
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容															
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)														
史跡、福谷城跡(発掘による学術調査により戦国時代の山城跡として証明された。) 史跡、黒笹27号窯跡(平安時代の猿投窯の状況を見ることができ市内で唯一の古窯遺跡)			<table border="1"> <tr><th colspan="2">名 称</th><th>単位</th></tr> <tr><td colspan="2">史跡(福谷城跡)の面積</td><td>m²</td></tr> <tr><td colspan="2">史跡(黒笹27号窯跡)の面積</td><td>m²</td></tr> <tr><td colspan="2">その指標</td><td></td></tr> </table>		名 称		単位	史跡(福谷城跡)の面積		m ²	史跡(黒笹27号窯跡)の面積		m ²	その指標			
名 称		単位															
史跡(福谷城跡)の面積		m ²															
史跡(黒笹27号窯跡)の面積		m ²															
その指標																	
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)														
一般公開するために、これを継続して維持保存する。 一般公開するために、これを継続して維持管理する。			<table border="1"> <tr><th colspan="2">名 称</th><th>単位</th></tr> <tr><td colspan="2">史跡(福谷城跡)の公開面積</td><td>m²</td></tr> <tr><td colspan="2">史跡(黒笹27号窯跡)の公開面積</td><td>m²</td></tr> <tr><td colspan="2">その指標</td><td></td></tr> </table>		名 称		単位	史跡(福谷城跡)の公開面積		m ²	史跡(黒笹27号窯跡)の公開面積		m ²	その指標			
名 称		単位															
史跡(福谷城跡)の公開面積		m ²															
史跡(黒笹27号窯跡)の公開面積		m ²															
その指標																	
(4)結果(上位基本事業の意図:基本事業にどのように貢献するか)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)														
伝統文化を保護保存し次代に継承する			<table border="1"> <tr><th colspan="2">名 称</th><th>単位</th></tr> <tr><td colspan="2">伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td colspan="2">伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td colspan="2">その指標</td><td></td></tr> </table>		名 称		単位	伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合		%	伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合		%	その指標			
名 称		単位															
伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合		%															
伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合		%															
その指標																	
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値									
(5)の活動指標		m ²	2,939	2,939	2,939	2,939	2,939	2,939									
		回	3	3	3	3	3	3									
(6)の対象指標		m ²	4,133	4,133	4,133	4,133	4,133	4,133									
		m ²	253	253	253	253	253	253									
(7)の成果指標		m ²	4,133	4,133	4,133	4,133	4,133	4,133									
		m ²	253	253	253	253	253	253									
(8)の結果の成果指標		%	74	74	74	74	74	74									
		%	50	50	50	50	50	50									
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	06						
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値									
事業費(決算又は予算額)		単位	1,376	1,314	1,467	1,467	1,467	1,467									
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0									
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0									
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0									
	その他	千円	0	0	0	0	0	0									
	一般財源	千円	1,376	1,314	1,467	1,467	1,467	1,467									
人件費B		千円	369	376	376	376	376	0									
正職員従事時間×人数		時間×人	100×1	100×1	100×1	100×1	100×1	×									
正職員以外の人件費		千円															
その他費用C		千円	1,472	1,472	1,472	1,472	1,472										
トータルコストA+B+C		千円	3,217	3,162	3,315	3,315	3,315	1,467									
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ m ²	1	1	1	1	1	1	0									
	千円/ m ²	13	12	13	13	13	13	6									
	千円/																

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580307 史跡整備管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成2年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 中世期の山城跡であり、その概要が学術調査されており、貴重な史跡として残すため、当該用地を借地し維持管理を開始した。	特になし。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	文化財保護法(第3条)、みよし市文化財保護条例第(第18条)他 市指定文化財を始め重要な文化財の保存に関わる事業として、市負担で実施する。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	史跡を良好な状態で保全する取り組みを継続することこそが、文化財の保存と活用に結びつくものであり、現状の水準を維持する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	みよし市の代表的な遺跡(史跡)を良好な状態で保全する取り組みを継続することが、文化財の保存と活用に結びつくものであり、現状の水準を維持する。					